

創世会
二村 禮一

菊川流域治水協議会の取り組み内容は

Q 菊川は流域面積が狭く、川の勾配が緩く、支流を含めて水位が一気に上がりやすい特性を持っている。河川

の特性に応じた治水対策を伺う。



一級河川菊川

「流域治水プロジェクト」を策定し、対策を行う

A 協議会では、堤防からの越水を回避し、浸水被害の軽減を図るため、流域治水について検討していきます。あわせて、

国、県、市が行う対策について検討しており、今後「流域治水プロジェクト」を策定し、各対策の実施目標期間の設定、実施

状況のフォローアップを行っていきます。

掛川市の課題は

Q 今後、人口減少社会がさらに加速され、地方行政・自治

体経営も大きな転換期を迎える中、ポストコロナ社会に適合したまちづくりをどのように進めていくか伺う。

人口減少と少子高齢化への対応が最も重要な課題である

A 掛川市にとって、人口減少と少子高齢化への対応が最も重要な課題と認識しています。そのほか、環境への取り組み、災害への備え、教育環境

の向上や子育て支援、地域活性化や雇用創出などの経済対策についても、重要な課題であると考えています。さらに、新型コロナウイルスの影響を受ける中で、デジタル化の対応、地方分散の受け皿づくりなども新たな課題であり、総合計画を見直して、対応について検討を進めています。

志誠会
草賀 章吉

松井市長がすすめた生涯学習とは、どのようなものか

Q 掛川市を説明する文言には、「生涯学習が根づくまち」「報徳精神が生きるまち」が必ず出る。松井市長がすすめた生涯学習とはどのようなものであったか伺う。

「生涯学習が根づくまち」「報徳精神が生きるまち」が必ず出る。松井市長がすすめた生涯学習とはどのようなものであったか伺う。

協働のまちづくりを支える根幹である

A 学び続けながら、自分たちの住む地域を豊かにすること、自分の人生を豊かにすることが生涯学習であると思っています。その学びによって自己を高めた市民が、協働によるまちづくりを実践し、「ひとづくり」と「まちづくり」の一体的な推進が図られてきたと考えています。生涯学習とは、協働のまちづくりを支える根幹であると認識しています。

「区長会」と「地区まちづくり協議会」の議論再燃、課題は何か

Q 掛川市は過去から区長会を中心

に協働でまちづくりをしてきた。「区長会」が果たしてきた役割を軽視して、「地区まちづくり協議会」をつくり混乱しているのではないかと。改めて課題は何かを伺う。

並立する組織の役割や関係性などの整理が課題

A 「区長会」と「地区まちづくり協議会」の二つの組織が並立することで、役割や関係性などの整理が難しくなっていること、旧地域生涯学習センターとの違いがわかりにくいことなどの課題があります。地区の現状や考えを聞きながら、実情に適合した組織となるよう、協働のまちづくりの原点に立ち返り、丁寧な議論を進めていきたいと考えています。

【その他の質問事項】

- ・重点施策の評価について
- ・小中一貫教育について
- ・在宅医療の現状と課題について
- ・茶園の耕作放棄地について